

製品安全データシート

M S D S 番号 I-023

改訂日：2013年7月29日

製品名

MICROX用染色液（ギムザ）HEG-SG-10

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称： MICROX用染色液（ギムザ）HEG-SG-10
会社名： 武藤化学株式会社
住所： 東京都文京区本郷2-10-7
電話番号： 03-3814-5511
FAX番号： 03-3815-4832
緊急連絡先： 学術課 Tel. 03-3814-5511
推奨用途及び使用上の制限：

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：	引火性液体	区分2
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	区分3
	急性毒性（経皮）	区分3
	急性毒性（吸入）	区分3
	特定標的臓器・全身毒性 （単回暴露）	区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

H225 引火性の高い液体および蒸気
H301+H311+H331 飲み込んだり皮膚に接触したり吸引すると有毒
H370 臓器の障害

注意書き：

P210 熱/花火/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙
P233 容器を密閉すること。
P240 受器を接地すること/アースをとること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
P304+P340 吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P309+P310 暴露した時または気分が悪い時は、直ちに医師に連絡すること。
P403+P235 涼しい所/換気の良い場所で保管すること。

3. 組成、成分情報

単一物・混合物の区別：	混合物
化学名又は一般名：	メタノール
含有率：	約40%
化学式：	CH ₃ OH
官報公示整理番号	
(化審法)：	(2)-201
(安衛法)：	公表
C A S 番号：	67-56-1
E C 番号：	200-659-6

4. 応急措置

目に入った場合：	流水で十分に洗い、眼科医の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：	直ちに付着又は接触部を大量の水で十分に洗い流す。 汚染された衣服や靴を速やかに脱がせる。医師の手当てを受ける。
吸入した場合：	直ちに新鮮な空気の場合に移動し、毛布等に包んで安静保温し、速やかに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合：	口をすすぐ。無理に吐かせず、直ちに医師に連絡し指示を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：	水、泡、炭酸ガス、粉末
特有の危険有害性：	引火性物質。蒸気は空気より重く、床に沿って拡散する。 火災時に有害ガスを発生、フラッシュオーバーに注意すること。 常温で、空気と混合して爆発性混合物を生成する。
消火を行う者の保護：	適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。
その他：	移動可能な容器は速やかに安全な場所に移し、霧状水で容器を冷やす。 消化の為の放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：	蒸気を吸い込まないように注意する。 露出物との接触を避ける。 適切に換気すること。 作業の際には保護具を着用し、風上から作業すること。
環境に対する注意事項：	下水施設に流してはならない。爆発性。
回収・中和：	吸収剤に吸着させて、適切な廃棄処理を行う。 露出箇所はきれいに清掃する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	密閉化した設備または局所排気を用いる。 炎、火災若しくは高温体との接近を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させない。 点火源を遠ざける。 静電気の発生には注意をはらうこと。 吸い込んだり眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具（保護眼鏡・保護手袋・保護長靴等）を着用し、出来るだけ風上から作業する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等、粗暴な取扱を
------	---

保管： しない。
容器は気密性を保つ。
乾燥状態で保管する。
換気のよい場所に保管する。
点火源、熱源を避けて保管する。
常温（15～25℃）で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露防止措置

設備対策： 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う設備を設置する。
衛生対策： 眼、皮膚および衣服に触れないようにする。
作業終了後は手洗い、洗眼を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。
皮膚保護の為にスキนครリームを使用する。

保護具

呼吸用保護具： 蒸気発生の場合は、呼吸保護具を使用する。
その他の保護具： 難燃性の帯電防止保護衣を着用する。
その他： 適切な保護服・保護手袋・保護眼鏡等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

形状： 液体
色： 青色
臭い： メタノール臭
密度： 0.79g/cm³ (20℃)
蒸気圧： Ca. 125hPa (20℃)
沸点： 65℃
引火点： Ca. 12℃
自然発火点： 455℃
爆発限界： 下限 5.5%(V) (メタノール)
 上限 36.5%(V) (メタノール)
オクタノール/水分配係数： log Pow = -0.74
溶解性： 水に溶ける。

10. 安定性及び反応性

反応性： 蒸気は、空気と爆発混合物を生成するおそれがある。
安定性： 常温では安定な物質である。
危険有害反応可能性
発熱のおそれ： 酸ハロゲン化物、酸無水物、酸、還元剤
爆発のおそれ： 酸化剤、ジエチル亜鉛、ハロゲン、（粉末状の）マグネシウム、過酸化水素
危険なガス/蒸気を生成するおそれ：
アルカリ金属、アルカリ土類金属、水素
避けるべき条件： 熱。引火点マイナス15Kを臨界値とみなす。
混触危険物質： マグネシウム、プラスチック、亜鉛合金

1 1. 有害性情報

皮膚に付着、目に入った場合：

皮膚から吸収される。

眼をわずかに刺激する。

吸入した場合：

呼吸器官を刺激する。

吸収された場合：

吐き気、嘔吐をおこす。

頭痛、めまい、酩酊状態に陥る。

視力障害、失明（視神経の不可逆的障害）をおこす。

飲み込んだ場合：

吸収される。

その他の有害性：

毒性に関する量的なデータはない。

アシドーシス、血圧降下、興奮、痙攣、昏睡状態が現れるおそれがある。

症状が出るまでの潜伏期間がある。

この他の有害性を否定することはできないが、それらを予測評価するための十分な知見はない。

1 2. 環境影響情報

生体蓄積性：

蓄積性は見られない。

その他：

自然水、下水、土壌の汚染を避ける。

溶解性が低いため、十分な注意を持って取り扱われるならば、水生生物への有害な影響は予測されない。

1 3. 廃棄上の注意：

残余廃棄物：

関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

容器包装：

空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号：

1230

品名：

METHANOL

クラス：

3 (6.1) /II

国内規制：

消防法： 第四類 アルコール類 II 水溶性

安全対策：

運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

1 5. 適用法令

消防法：

第四類 アルコール類 II 水溶性

メタノール

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律：

優先評価化学物質

労働安全衛生法第57条の2：

通知対照物質

労働安全衛生法第57条：

表示対照物質

労働安全衛生法有機則：

第2種有機溶剤等

16. その他の情報

引用文献：

国際化学物質安全性カード（I C S C）日本語版 化学工業日報社(1992)
産業中毒便覧 後藤稠 他編 医歯薬出版（株）(1977)
化審法の既存化学物質安全性点検データ集 （財）化学品検査協会(1992)
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM (2008)
The Merck Index 12th Edition Merck&Co.Inc (1996)
14303の化学商品 化学工業日報社 (2003)
製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/ghs/list.html>
中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター GHSモデルMSDS情報
http://www.jaish.gr.jp/anzen/gmsds/gmsds_index.html
GHS分類集(I)(II):(社) 日本化学物質安全情報センター
国際化学物質安全性カード（I C S C）日本語版 化学工業日報社(1992)

特別注意事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手配を対照としたものなので、特殊な手配の場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容の問い合わせ先

武藤化学株式会社 学術課

TEL:03-3814-5511